

原子力艦 ロナルド・レーガン 寄港日の放射能調査結果

平成 31 年 2 月 2 日
放射線環境対策室

米国原子力艦 ロナルド・レーガン の横須賀港寄港に伴う第60日目の放射能調査結果は次のとおりである。

1. モニタリングボートによる放射線の測定結果

(1) 使用ボート	きぬがさ
(2) 調査コース	寄港時調査コース
(3) 調査日時	平成31年 2 月 2 日 09:55 ~ 10:38
(4) 調査結果	空間 4 ~ 6 nGy/h 海水 10 ~ 13 cps

2. モニタリングポストによる放射線の測定結果

		測定結果		備考
(1) 調査期間		自 平成31年 2 月 1 日 15:00		
		至 平成31年 2 月 2 日 15:00		
調査結果	(2) 小海(1号)局	空間 23 ~ 29 nGy/h		
		海水 8 ~ 11 cps		
	泊(2号)局	空間 16 ~ 21 nGy/h		
		海水 21 ~ 26 cps		
	楠ヶ浦(3号)局	空間 ^{※1} 24 ~ 29 nGy/h		
		海水 ^{※1} 6 ~ 8 cps		
	長浦(4号)局	空間 32 ~ 37 nGy/h		
		海水 14 ~ 17 cps		
	かきヶ浦(5号)局	空間 17 ~ 21 nGy/h		
		海水 9 ~ 13 cps		
	小川町(6号)局	空間 34 ~ 40 nGy/h		
	本町(7号)局	空間 36 ~ 42 nGy/h		
	東逸見(8号)局	空間 20 ~ 25 nGy/h		
	船越(9号)局	空間 25 ~ 30 nGy/h		
	夏島(10号)局	空間 19 ~ 24(43) ^{※2} nGy/h		

3. 天 候 晴

4. 備 考

測定結果は、平成30年12月5日(水)に実施した入港前調査の測定値と同一レベルである。

※1 楠ヶ浦(3号)局モニタリングポスト工事のため、空間は可搬型モニタリングポストを、海水はサーベイメータを用いて測定した結果である。

※2 モニタリングポスト夏島(10号)局において、平成31年2月2日10時28分~10時30分までの間、空間計の最高値43nG/hを記録した。この時の測定値の上昇、下降パターン及びスペクトル解析の結果から、非破壊検査装置を用いた作業の影響と考えられる。

本調査結果に関する問合せ先：原子力規制庁監視情報課放射線環境対策室
電話：03-5114-2126 問合せ時間：平日10時~12時、13時~18時